



渡辺 甚一 議員

### 高山城跡や松倉城跡等の見晴らしをよくして桜やモミジを植えよう

市内の城跡の現状や都市計画などの規制はあるのか。

答県の調査報告書では、総数で56か所。県指定が高山城跡・松倉城跡他4か所、市指定は9か所。

都市計画では高山城跡・松倉城跡が風致地区になっている。史跡や風致地区での立木の伐採は一定の制限はあるが、松倉城跡では平成26年度眺望を確保するため、樹木の伐採をした。

高山城跡は立木が多く、城下町が見下ろせない。針葉樹を伐採して、桜や紅葉を植栽できないか？

答史跡および周知の埋蔵文化財包蔵地であることなどから難しい。

市内全城跡の立木を

伐採して、郷土教育や桜・もみじを植栽して今後の観光名所になる観光特区にできないか。

答高山城跡の立木の伐採や植栽に観光特区を活用はできない。その他特区による文化財保護法の規制緩和は慎重な対応が必要である。

答新射撃場の規模と今後の予定と安全性は。

答新射撃場は美女ヶ池付近51,406㎡で平成30年春の完成予定。地元説明会では、水質・騒音・水芭蕉等対策は事業者側が地元の了承を得ている。

答周辺市町村と協議して支援できるように検討する。



今井 武男 議員

### 「清流の国ぎふ森林・環境税」の取り組みについて

県の「清流の国ぎふ森林・環境税」について、市の取り組みとその成果は。

答地域の生活環境の保全、未利用材の利用促進、木材への親しみや木の文化への理解などである。

答次期「清流の国ぎふ森林・環境税」に対する市の考えは。

答これまで成果が出ている事業を継続できるように県と協議を進める。

答緊急輸送道路の避難路沿道建築物の耐震診断の義務化について

答対象となる建築物は国道41号線沿いほどの程度あるのか。

答緊急輸送道路の機能確保することが重要で、国、県と連携し補助制度の拡充を行い所有者に積極的に働きかけた。

答緊急輸送道路の機能確保することが重要で、国、県と連携し補助制度の拡充を行い所有者に積極的に働きかけた。

答緊急輸送道路の機能確保することが重要で、国、県と連携し補助制度の拡充を行い所有者に積極的に働きかけた。



ヘルプカード

### ヘルプカードについて

答平成27年6月議会で質問したヘルプカードについて、その後の経過は。

答県では来年度から無料配布を計画。県内29の障がい者団体に事前の意向調査をし、14,000個の希望と聞いている。市も積極的に協力し配布をしたい。

答緊急輸送道路の機能確保することが重要で、国、県と連携し補助制度の拡充を行い所有者に積極的に働きかけた。

答緊急輸送道路の機能確保することが重要で、国、県と連携し補助制度の拡充を行い所有者に積極的に働きかけた。



谷村 昭次 議員

### 建設発生土の処理における自然環境や生活環境を保全していく上で今後の適正なる契約と処理について

公共工事による建設発生土(残土)の適正処理の今後について

答市は「自由処分」、つまり発注時に具体的な搬出先を指定せず、工事契約後に請負者が運搬経路を示し、受入れ地を確保し、諸法令に合理的な対応であること

を市が確認して処理をすることが確認して処理をすることが確認して処理をすることが確認して処理を

する。また、工事契約変更の基本的な事項からも事後変更を前提とする発注を慎むべきである。

答市では県が示す適正処理要綱を参照し、平成6年から現在まで自由処分としてきた。

答市では県が示す適正処理要綱を参照し、平成6年から現在まで自由処分としてきた。